

日特建設株式会社



本店			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6 4・5・6F	TEL.03(5645)5050 (大代表) FAX.03(5645)5051	
札幌支店			
〒004-0041	札幌市厚別区大谷地東4-2-20	TEL.011(801)3611(代) FAX.011(801)3633	旭川営業所 TEL.0166(48)3700 函館営業所 TEL.0138(35)7010 道東営業所 TEL.0155(24)5600
東北支店			
〒982-0036	仙台市太白区富沢南1-18-8	TEL.022(243)4439(代) FAX.022(243)4438	青森営業所 TEL.017(773)7275 盛岡営業所 TEL.019(606)6120 三陸出張所 TEL.0193(27)8157 秋田営業所 TEL.018(863)3035 山形営業所 TEL.023(641)5988 福島営業所 TEL.024(536)1800
東京支店			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6 2 F	TEL.03(5645)5100(代) FAX.03(5645)5107	群馬営業所 TEL.027(253)2305 宇都宮営業所 TEL.028(637)3567 水戸営業所 TEL.029(246)2700 埼玉営業所 TEL.048(647)6981 千葉営業所 TEL.043(225)8023 横浜営業所 TEL.045(226)4820 長野営業所 TEL.026(228)6761
北陸支店			
〒950-0963	新潟市中央区南出来島1-4-4	TEL.025(383)8700(代) FAX.025(383)8701	富山営業所 TEL.076(452)2766 金沢営業所 TEL.076(240)0111 福井営業所 TEL.0776(38)6499 佐渡営業所 TEL.0259(55)2332 上越営業所 TEL.025(544)4750
名古屋支店			
〒460-0008	名古屋市中区栄1-16-6	TEL.052(202)3211 (代) FAX.052(202)3212	岐阜営業所 TEL.058(275)0206 静岡営業所 TEL.054(202)2090 三重営業所 TEL.059(225)6575
大阪支店			
〒541-0048	大阪市中央区瓦町2-2-7	TEL.06(6232)2109 (代) FAX.06(6232)2108	京滋営業所 TEL.075(646)5890 神戸営業所 TEL.078(577)2570 奈和営業所 TEL.0736(69)1070 高松営業所 TEL.087(815)0822 松山営業所 TEL.089(998)2221 高知営業所 TEL.088(861)4171
広島支店			
〒730-0803	広島市中区広瀬北町3-11	TEL.082(231)2109(代) FAX.082(231)2310	鳥取営業所 TEL.0857(39)8050 松江営業所 TEL.0852(21)7317 岡山営業所 TEL.086(226)1429 山口営業所 TEL.083(925)4258
九州支店			
〒812-0027	福岡市博多区下川端町1-3	TEL.092(271)6461(代) FAX.092(271)6482	佐賀営業所 TEL.0952(37)6912 長崎営業所 TEL.0957(49)9320 熊本営業所 TEL.096(382)1639 大分営業所 TEL.097(552)4222 宮崎営業所 TEL.0985(23)1406 鹿児島営業所 TEL.099(258)3867 沖縄営業所 TEL.098(875)4400
直轄グラウト部			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6 2 F	TEL.03(5645)5111(代) FAX.03(5645)5112	
海外事業部			
〒103-0004	東京都中央区東日本橋3-10-6 5 F	TEL.03(5645)5055(代) FAX.03(5645)5056	
ジャカルタ 駐在員事務所 (インドネシア共和国)			
	GENERALI TOWER GRAN RUBINA BUSINESS PARK 16th Floor Unit G Jl. HR Rasuna Said, Kuningan Jakarta 12940 , Indonesia	TEL.+62-21(2994)1582 FAX.+62-21(2994)1991	

グループ会社



緑興産株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 4F
TEL.03(5645)5150(代) FAX.03(5645)5153



PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA

GENERALI TOWER
GRAN RUBINA BUSINESS PARK 16th Floor Unit G
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan Jakarta 12940, Indonesia
TEL.62-21-2994-1582 FAX.62-21-2994-1991



島根アースエンジニアリング株式会社

〒690-0055 島根県松江市津田町310-1 2F
TEL.0852(21)7337 FAX.0852(21)7353



山口アースエンジニアリング株式会社

〒753-0015 山口県山口市平野2-3-13
TEL.083(901)1050 FAX.083(925)5166



愛媛アースエンジニアリング株式会社

〒790-0951 愛媛県松山市天山2-6-12 2F
TEL.089(998)8881

CSR報告書



「守る」技術で、つながる、未来へ。



もくじ

■ 社長メッセージ	2
■ 会社概要	3
■ 経営目標(中期経営計画)	4
■ コーポレート・ガバナンス	5
■ コンプライアンス	6
■ 人材育成・就労制度	7
■ ICT活用・機械化による生産性向上	11
■ 安全衛生活動・安全教育	13
■ SDGsへの取り組み	15
■ 現場紹介	17
■ 海外事業	21
■ 環境活動	25
■ 社会貢献	27

■ 編集にあたって

対象期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月

※ただし当該期間外の実績も一部掲載しています。

対象範囲：当社とグループ会社の活動

発行時期：2021 年 6 月

□ 問い合わせ先 □

日特建設株式会社 経営戦略本部 経営企画部 広報課

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-10-6 Daiwa 東日本橋ビル 4・5・6F

TEL 03-5645-5080 / FAX 03-5645-5083

ホームページ内「お問い合わせ」フォーム (<https://www.nittoc.co.jp/contact/index.html>) からの

お問い合わせが便利です。

ご意見、ご感想をお寄せください。当社の活動や報告書の改善に役立たせていただきます。

社長メッセージ

〇〇〇



日特建設は、1947 年（昭和 22 年）、ダム基礎処理を創業工種として始まり 70 有余年、環境防災、維持補修、都市再生分野の専門工事に特化した地質に強い施工会社として評価をいただいております。

昨今、日本では地震や台風・豪雨などによる甚大な災害が頻発しており、建設業界には国土強靱化、および減災化への対応が求められております。また、地球規模で見ても気候変動の要因とされる温暖化対策のためのエネルギー変換と CO2 削減や環境汚染対策のための産業廃棄物抑制や、脱プラスチックなど喫緊の課題が山積しております。

その中で弊社は 2020 年度より新たな中期経営計画をスタートさせております。これらの様々な課題解決のための新技術・施工の自動化・省力化などに向けた研究開発、事業拡大のため、協力業者を含めた技術者の確保と育成、働き方改革を推し進めるための生産性の向上、ICT 技術を活用した業務効率化にも取り組んでまいります。

当社の主な業務は、インフラの整備工事、防災工事、環境緑化工事など、国土の安全・安心にかかわる工事です。また会社の使命には、コンプライアンス、社会貢献、環境活動、顧客満足・投資家満足・従業員満足の向上など、多くの事柄があります。これら社会のさまざまな要請や期待に応えること、つまりそれはCSR（企業の社会的責任）の履行を前提としています。企業に求められる使命や対象者は、工事の品質や安全管理やそれを提供するお客様だけではなく、工事の周辺にお住まいの方々や施工したインフラを使用していただく方々など多岐に及びます。

弊社は、経営理念「基礎工事における総合的な技術力と効率的な経営で、安全安心な国土造りに貢献する会社」のもと、建設業を営む会社として社会的な責任を果たしていく中で、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 和田 康夫

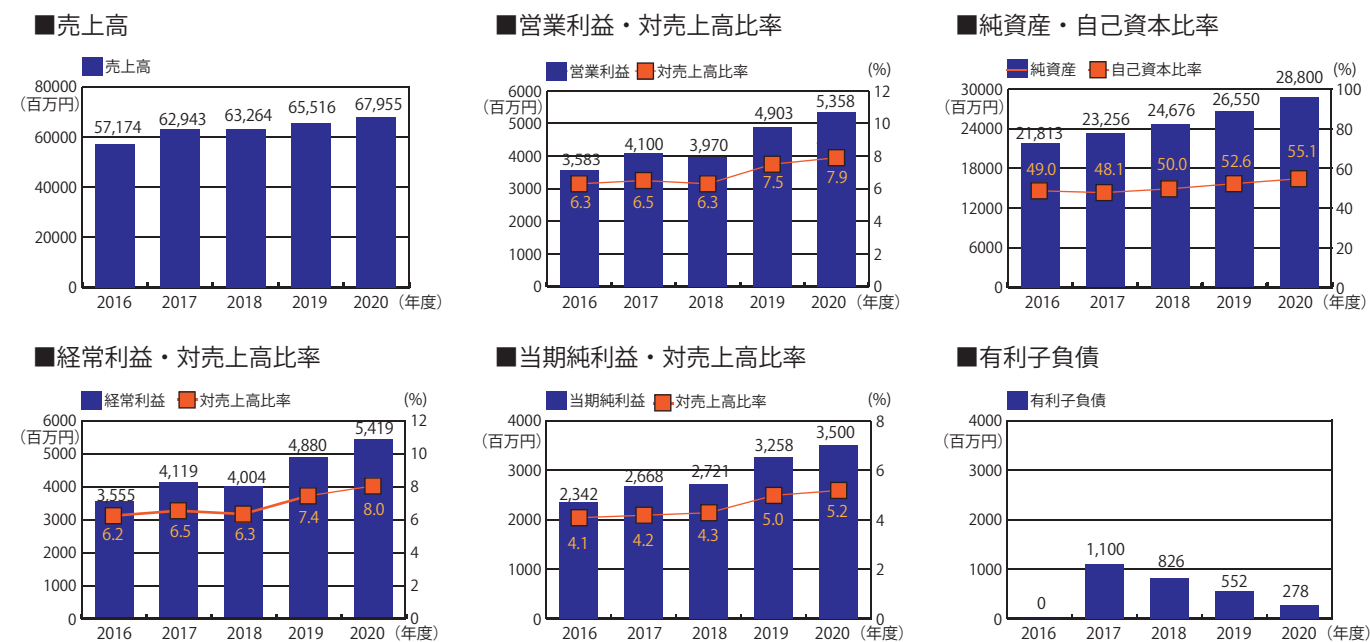
会社概要

〇●〇

● 会社概要 2021年3月31日現在(業績、社員数、それ以外は最新)

■商号	日特建設株式会社 NITTOC CONSTRUCTION CO.,LTD	■営業種目	総合建設業 ・土木・基礎 ・地質コンサルタント
■本店	東京都中央区東日本橋 3-10-6	■許可	建設業許可 特定建設業 国土交通大臣(特-28)第211号
■設立	1947年(昭和22年)12月17日	■登録	建設コンサルタント登録 登録番号 建01第15号
■資本	発行済株式総数 43,919千株 資本金 60億円 東京証券取引所 第一部上場		測量業者登録 登録番号 第(15)-435号
■代表者	代表取締役社長 和田 康夫		地質調査業者登録 登録番号 質29第2号
■社員数	建設事業 1,245名 (連結) その他の事業 12名 計 1,257名	■免許	宅地建物取引業 東京都知事(3)第91766号
※社員数は、臨時従業員の年間平均雇用人員262人を含めて掲載しております。		■指定	土壤汚染調査機関指定業者 指定番号 環2003-8-1002
■業績(連結)	売上高 679億円 営業利益 53億円 経常利益 54億円 親会社株主に帰属する当期純利益 35億円	■事業所	本店(東京) 支店/札幌・東北・東京・北陸・名古屋 ・大阪・広島・九州 ・直轄グラウト部・海外事業部

● 業績(連結) 2020年3月31日現在



経営目標(中期経営計画)

〇●〇

● 経営目標

2020年5月に中期経営計画2020(2020~2022年度)を公表しています。2020年度からの3年間で、「人的資源の確保と育成をし、生産性向上を図り成長する期間」と位置づけ、下記の目標達成に向け全役職員一丸となって実行してまいります。

1. 中期経営計画(3ヵ年)の位置付け
「Next Challenge Stage II」
人的資源の確保と育成をし、生産性向上を図り成長する期間

2. 事業戦略
働き方改革の実現を軸に働き手の確保と生産性の向上を図ると共に、顧客信頼を確保し、市場の期待に応え事業拡大を図る。同時に長期的な建設市場の変化を見据え、維持補修分野における技術力・営業力を強化し、優位性のある技術開発でシェアの拡大を目指す。

3. 2021年度経営理念・経営方針

1) 経営理念

・使命 (Mission)
安全・安心な国土造りに貢献する会社

・価値観 (Value)
基礎工事における総合技術力と効率的な経営

・あるべき姿 (Vision)
信頼される技術力に培われた、
環境・防災工事を主力とした基礎工事のエキスパート

2). 経営方針

- ①. 内部統制(コンプライアンス、リスク管理)の強化
- ②. 安全と職場環境を重視した経営
- ③. 重要施策の実現
- ④. 収益性の維持と生産性の向上
- ⑤. キャッシュ・フロー重視の経営
- ⑥. 人材の確保と育成

4. 中期経営計画2020(2020年度~2022年度) 経営目標

1) 営業面の目標(2022年度)

- ① 地盤改良工事拡大(完成工事高 200億円)
- ② 法面補修工事拡大(完成工事高 100億円)

2) 業績面の目標

- ① 営業利益 3ヵ年平均: 44億円以上
- ② 営業利益率 3ヵ年平均: 6.0%以上

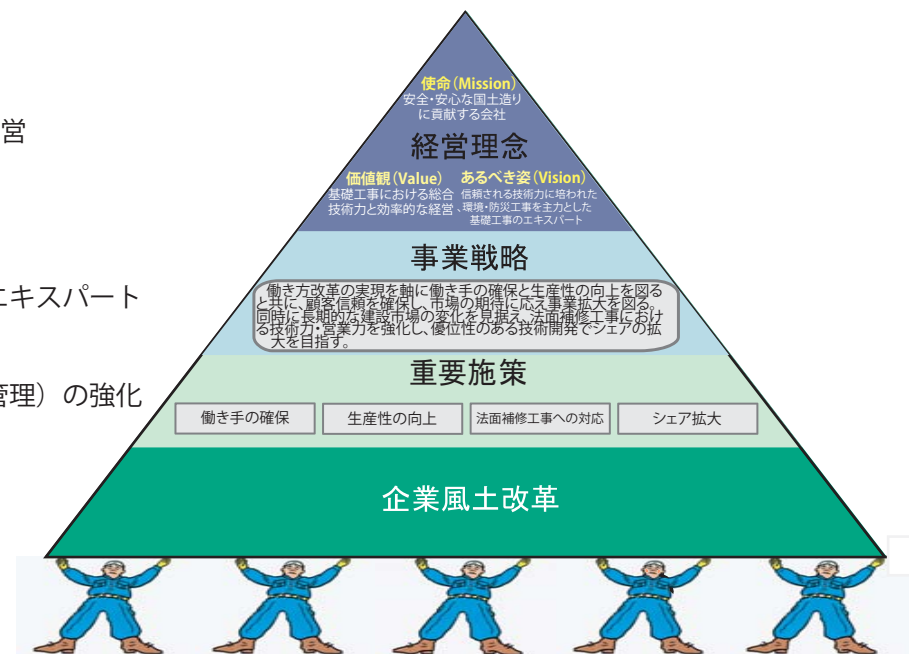
※2020年度業績はP.3参照

3) 財務面の指標(2022年度)

- ① 自己資本比率 52%以上
- ② キャッシュ・フロー プラス

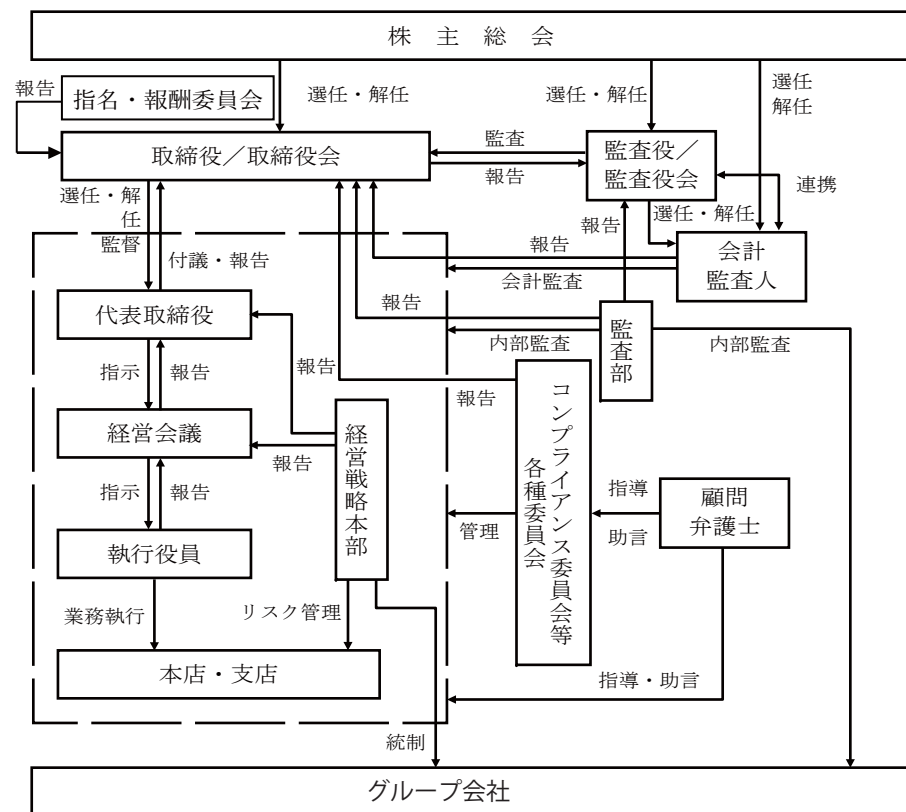
4) 株主還元の目標

- ① 配当性向 40%以上



● コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、企業活動を支えるすべてのステークホルダーの利益を重視し、かつ各種法規範のみならず、社内規範や社会の良識・常識も遵守した企業倫理の重要性を認識するとともに、企業の継続的な発展と、社会的信用の獲得、また、反社会的集団に対する不当利益供与の根絶等、経営の透明性、健全性を高め、社会基盤の整備に貢献できる組織の構築をコーポレート・ガバナンスに関する基本的な方針としております。



主な組織の機能

・取締役会

取締役会は、経営の基本方針ならびに執行方針について審議決定するとともに、業務執行に関する重要事項について決定もしくは承認をなすものとする。また、社外取締役の客観的な立場から意見を受けることにより、取締役会の実効性の向上に努めている。開催は、原則として毎月1回開催し、必要がある場合は随時開催する。

・監査役会

監査役会は、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議を行い、又は決議をする。ただし、各監査役の権限の行使を妨げることはできない。開催は、四半期に1回開催し、必要あるときは随時開催する。

・コンプライアンス委員会

コンプライアンス委員会は、コンプライアンスを社内に定着させていくための具体的な実践計画であるコンプライアンス・プログラムに定める個別課題について協議・決定を行うとともに、コンプライアンス・プログラムの進捗状況を管理する。開催は年4回以上行う。

日特建設では、コンプライアンスは重要な社会的責任であり企業存続の基盤であると考え、「行動規範 - コンプライアンス基本方針」に則り、法令や社内外のルールを徹底してまいります。そのためにコンプライアンス重視の業務体制の構築はもちろん、社員に対するコンプライアンス研修にも力を入れております。

● 行動規範 - コンプライアンス基本方針

私たちは、事業を営む者として企業の社会的責任を自覚し、法令や社内外のルールおよびその精神を遵守するとともに社会的良識をもって、以下の通り行動します。

- 1 私たちは、社是である「日々是進歩」、および社訓である「安全第一、信用確立、技術発展」を常に踏まえた企業活動を行い、経済や社会の発展に貢献します。
- 2 私たちは、法令や社内ルールを遵守するだけでなく、企業倫理に基づいた企業人として誇れる行動を通じて、社会からの信頼に応えるように努めます。
- 3 私たちは、「開かれた企業」として適時・適切に企業情報の提供を行なうとともにステークホルダーをはじめとする社会からの声に耳を傾け企業活動に反映させるように努めます。
- 4 私たちは、環境問題への取組は企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。
- 5 私たちは、地域で働く企業人として地域との融和に努め、地域活動にも自主的に参加し、地域社会に貢献できるように努めます。
- 6 私たちは、お客様の要望に誠実に応えるとともに、お客様の目線でものを考え、お客様本位の対応を行います。
- 7 私たちは、取引先と透明性の高い公正で健全な関係を築き上げ、相互の繁栄を考えた取引を行なうように努めます。
- 8 私たちは、誠実かつ健全な企業活動を継続することで、社会から信頼される企業となるよう努めます。
- 9 私たちは、従業員の人權を尊重し、個性を認め合い、十分なコミュニケーションを心掛けることで、安全で快適な職場を築きます。
- 10 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体には厳しく対処します。

● コンプライアンスの徹底、教育

1. コンプライアンスの徹底

会社で定めている行動規範 - コンプライアンス基本方針 - を基に、コンプライアンス意識の向上を図っています。

2. コンプライアンス教育

(1) 研修会

当社では年間を通じて様々な会議で、コンプライアンス研修を行っております。

例：新入社員研修、工事部長・工務課長研修、営業部長・案件担当者研修、事務管理部課長研修、コンプライアンス・リスク管理推進責任者研修、キャリア採用研修 ほか

(2) 社内報、e-ラーニング、月例会議を通じた教育

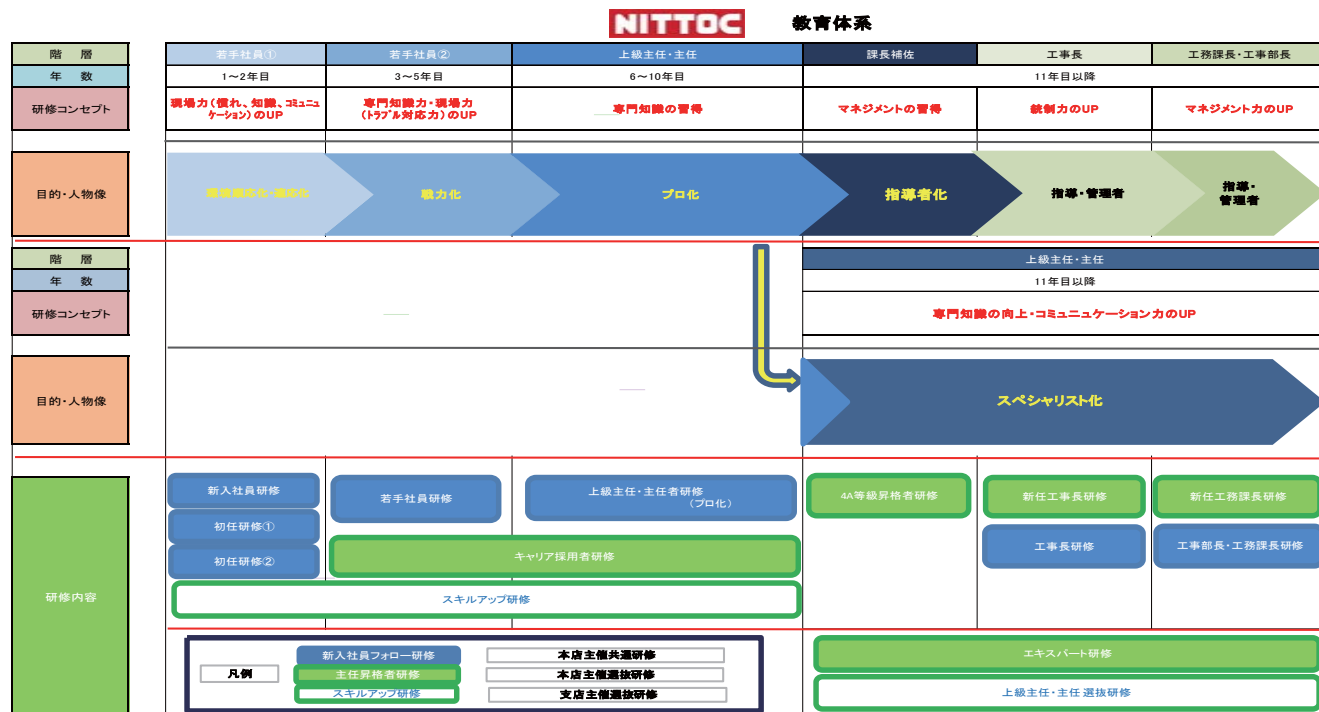
毎月、社内報に様々な具体例を紹介したコンプライアンス講座を掲載しています。また e-ラーニングでの定期的な教育に加え、月初に本店・各支店で役員が会社の重要事項を説明する月例会議でも、社員一人ひとりのコンプライアンス意識向上、教育を図っています。

人材育成・就労制度-1



● 教育制度 社員の可能性を引き出すため、階層ごとに教育制度を設けています。

私たちは下表のコンセプトのもと、未来の夢のため、将来を見据えた教育制度を整えています。さらに社員一人ひとりの気持ちを大切に、個性を伸ばしていくことで、優れた専門性とさまざまなものごとに興味を持つ、多様性を併せ持った人物への成長を促していきます。



● 主な研修の様子

主な研修の様子をご紹介します。(表記には、研修要素を含む会議も記載)

4月	新入社員研修 新任工務課長研修 工事部長・工務課長研修	8月	営業部長会議 若手研修(事務系)
5月	技術担当者会議 専門部会 新任工事長研修 新任管理職研修 営業所長研修 品質管理責任者研修 コンプラ・リスク管理責任者研修 事務管理部課長研修 機材担当者会議	9月	安全環境品質部長会議 キャリア採用者研修 4A等級昇格者研修 エキスパート研修 初任研修①
6月	QMS新規内部監査員養成研修 若手研修	10月	研究成果中間報告会 事務管理部課長会議
7月	上級主任・主任研修 技術発表会 専門部会 フォロー研修(2年目) 工事部長・工務課長会議	12月	営業部長会議 初任研修②
		2月	本店QMS内部監査員スキルアップ研修
		3月	安全担当者会議 支店長・事業部長研修 研究成果報告会

● 就労制度 ライフイベントに合わせ、様々な就労制度を設けています。

各種の就労制度を取り入れ、社員に働きやすい職場を目指しています。
例：育児・介護休暇、休業、短時間勤務、自己啓発研修、ボランティア活動休暇等

育児休暇等取得社員の声



約1年間の育児休暇を取得し、復職致しました。初めての出産ということもあり今までのように働くことが出来るか不安ばかりでした。しかしこの一年を振り返ると職場の方々や家族の協力もあり、出産前と変わらない働き方が出来ていると思います。また「子の看護休暇制度」があることで就業中の時間単位での休暇取得が可能になり、更に働きやすい環境となりました。これからも時間を有効に使い、子供との時間も大切に、自分らしく働き続けることが出来るよう努力したいと思います。

広島支店 綾部 幸代

● 社内表彰制度 一人ひとりが輝く会社に

社内の活性化と社員のモチベーション向上を目指し、様々な表彰制度を設けています。

社長賞受賞社員の声



2020年11月3日に、瑞宝単光章とそれに伴い社長賞をいただきました。1979年に入社以来約46年にわたり多くの基礎工事現場、特に数々のダム建設に携わってきました、その中で多くの知識や経験・人脈を授かってきました。2009年に技術士の取得。2019年には建設マスターを受賞するなどして、長年にわたり公共工事に関与したことが専門工事業務功勞として受賞になったと思います。今後よりいっそう業務に勤しみ、また若手社員の模範となり、後進の指導をしていけるよう尽力してまいります。

札幌支店 山田 潔

● 資格取得支援 社員の資格取得のために、資格手当の支給など様々な支援をしています。

事業を行っていく上で必要な資格について、各種の支援を行っています。特に、現場代理人を務めるために必要な一級土木施工管理技士については、研修や論文添削なども行っています。また、技術士については、日特建設技術士会が支援の中心となり支援を行っています。また、資格取得者には資格手当を支給し、社員の資格獲得へのモチベーションを高める働きをしています。

	手当を支給する資格(取得一時金を含む)
技術系	博士(工学、理学)、技術士、一級土木施工管理技士・二級土木施工管理技士(土木、薬液注入)、一級・二級建築士、一級・二級建築施工管理技士、一級・二級造園施工管理技士、一級・二級管工事施工管理技士、一級・二級建設機械施工技士、一級・二級電気工事施工管理技士、第一・第二・第三種電気主任技術者、第一種・第二種電気工事士、甲種・乙種火薬取扱保安責任者、測量士、測量士補、地質調査技士、基礎施工士、地すべり防止工事士、第一・第二種下水道技術検定合格者、推進工事技士、コンクリート診断士、VEリーダー、技能士(一級・二級さく井)、自動車整備士(一級・二級・三級)、甲種・乙種危険物取扱者、労働安全・衛生コンサルタント、公害防止管理者、公害防止主任管理者、グラウンドアンカー施工士、建築積算士、工事管理者(新幹線・在来線)、ジェットグラウト技士、のり面施工管理技術者、土壌汚染調査技術管理者、水産工学技士(水産土木部門)、一級舗装施工管理技術者、シビルコンサルティングマネージャー、ダム工事総括管理技術者、小規模ダム工事統括管理者
事務系	公認会計士、公認会計士補、税理士、弁理士、司法書士、不動産鑑定士、不動産鑑定士補、宅地建物取引士、土地家屋調査士、一級・二級・三級建設業経理士、システム監査技術者、ITストラテジスト(システムアナリスト)、システムアーキテクト(アプリケーションエンジニア)、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、ITサービスマネージャ、社会保険労務士、衛生管理者、応用情報技術者(第一種情報処理技術者・ソフトウェア開発技術者)、行政書士、一級簿記検定、基本情報技術者(第二種情報処理技術者)、ITパスポート(初級システムアドミニストレーター)、TOEIC試験

● 人材育成・職場環境改善への取り組み 人材育成・働きやすい職場環境の整備を進めています。

日特建設では、人材育成と社員の働きやすい職場環境作りを行っています。その中で中期経営計画2020(2020～2022年度)の中で、重要施策として、人的資源の確保と育成に取り組み、現業社員(キャリア採用者を含む)の採用増員などに取り組みます。

- 1.採用の多様化
 - ・女性技術者、高卒技術者、外国人技術者、理系以外の学部採用拡大
 - ・通年を通して、地域限定社員を希望する転職社員の積極採用
- 2.採用(広報)活動の強化
 - ・ITと組織を活用した時間・場所にとらわれない採用活動を強化
 - ・若手社員の採用活動への関与強化による、ミスマッチの防止
- 3.魅力ある職場環境の整備
 - ・独身寮等の福利厚生面の拡充
 - ・採用の多様化に応える教育研修制度
- 4.若手社員のフォロー強化
 - ・若手社員の配置ルールにより無理のない社員教育を実施
 - ・人事(採用担当)面談によるギャップ・ミスマッチのフォロー
 - ・教育担当者(ブラザー)制度によるフォロー
- 5.職場環境の整備 (ワークライフバランスの充実)
 - ・時間外労働時間の削減
 - ・プライバシーの確保(寮、宿舍の完全ワンルーム化)
 - ・現場終了時の休暇取得促進と計画的な長期休暇の取得年3回(GW・夏季・年末年始) + 1回の長期休暇制度
 - ・ライフイベントに応じた柔軟な働き方(結婚・出産・子育て・介護時の働く場所・時間)
- 6.教育研修制度のさらなる強化
 - ・キャリアプランに基づく研修体系の整備
 - ・自己成長感、自己重要感、自己充実感を醸成する環境の強化
- 7.当計画期間中の時間外労働時間の目標
 - ・現場終了時の代休の取得～計画的な長期休暇の取得
 - ・有給休暇取得の奨励

● 研修・開発拠点 人材育成と技術開発の強化を進めてまいります。

1. 蓮田総合センター

人材育成と技術開発強化のための施設 蓮田総合センター

この施設は「人材育成」と「技術開発」を強化する拠点となります。施設は人材育成のための研修施設や技術開発のための研究開発室をはじめ、研修生のための宿泊施設、寮施設を備えています。また、社員間の交流の場や災害に備えて本社のバックアップオフィスの機能も有する施設です。

今後、当社はこの施設を活用し、集中的で効率的な人材育成と技術開発の強化を進めております。



蓮田総合センター外環(正面道路より)

2. 施設の概要

- (1) 名称: 日特建設株式会社 蓮田総合センター
- (2) 所在地: 埼玉県蓮田市駒崎1772-1
- (3) 延床面積: 2,999.35㎡
- (4) 構造・規模: RC造・地上3階建て

3. 設備機能

- (1) 研究開発棟
- (2) 階層別研修室
- (3) 施工指導課の所属員寮
- (4) 研修対象者の宿泊施設
- (5) 震災時の本店・東京支店のバックアップオフィス

● 就労環境の整備 - 新型コロナウイルス感染症 感染対策

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しました。社員の感染防止のため、さまざまな対策を行い予防に努めています。

基本方針

個々の衛生対策と新しい生活様式により、社員の新型コロナウイルスの感染を防ぐ。
社員の健康管理により二次感染の防止を行う。

対策

1. 社員の検温の実施
社員は毎朝、体温測定を実施しています。
2. 手洗い・消毒の励行、マスクの着用
社員に対して、感染予防のために、手洗い、消毒、そしてマスクの着用を求めています。
3. 在宅勤務
通勤時の感染リスクを減らし、オフィス内が密になることを防ぐために、班分けをしたシフト制による勤務を行っています。
4. 時差出勤
通勤時の感染予防のために、ラッシュ時間を避けた時差通勤を行っています。
5. アクリル板の設置
来客エリアや、事務所内にアクリル板を設置し、感染対策を行っています。
6. WEB会議の導入
感染防止のため、WEB会議を導入し、直接人の集まる会議を極力減らしています。
7. 来客者の検温
受付には、来客者の非接触型自動検温器を導入しています。
8. 現場への感染防止グッズの配布
感染予防のための、アルコールジェル、多機能ネッククーラー、不織布マスク、石鹸を各現場に配布しました。



受付の非接触型自動検温器



配布した感染防止グッズ



来客打ち合わせコーナーに設置のアクリル板

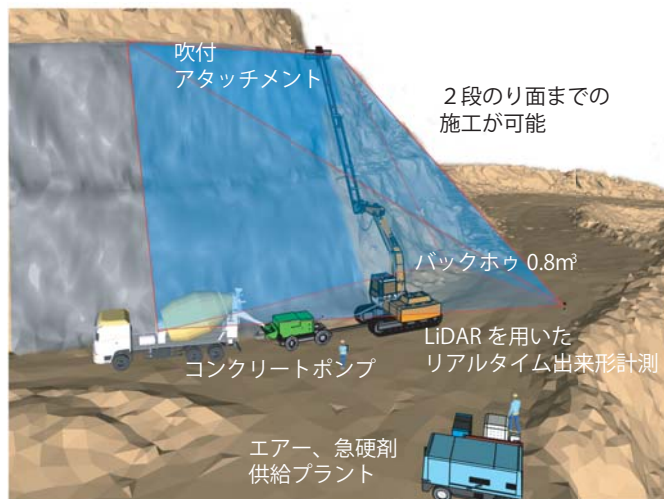
ICT活用・機械化による生産性向上について

ICT技術の活用や機械化による施工の自動化によって、生産性を向上する取組を行っています。



吹付のり面の省力化技術「スロープセイバー」 New!

「スロープセイバー」は、吹付アタッチメントを用いたモルタル吹付技術です。従来の人力による吹付作業と比較して大幅な工期短縮、省人化が期待できます。また、のり面施工支援システムを使用することで、より容易な施工・高精度な施工管理が可能となります。



- 人力によるのり面作業が不要
吹付作業は機械化施工となるため、墜落転落災害の危険があるのり面作業は必要ありません。
- 40～70%の工程短縮※
大容量コンクリートポンプを使用することで、人力施工の約3～5倍の吹付施工能力となり、大幅な工期短縮を実現できます。
- 50～80%の省人化※
機械化とICTを用いた集中操作で、吹付中の施工人員は3人となります。工期短縮の効果も相まって大幅な省人化が実現できます。
- 施工管理書類の自動作成（開発中）
出来形のリアルタイム計測結果から施工管理書類を自動作成をできるよう、開発中です。

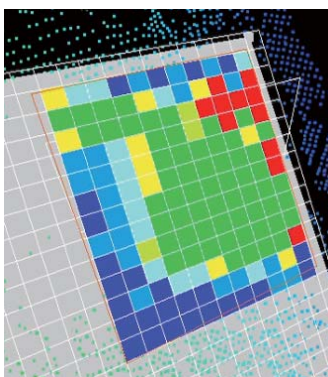
※現場条件により結果が大きく異なる場合があります



吹付状況



吹付アタッチメント



LiDARによる吹付厚計測結果例

吹付のり砕工の省力化技術「ラクデシヨット」

吹付のり砕工の型枠・鉄筋組立作業が不要で、吹付作業を機械化した省力化技術「ラクデシヨット」を開発しました。高強度繊維補強モルタルを使用することで鉄筋を不要とし、吹付時にモルタルを急結させることで型枠なしの施工が可能となりました。また、吹付作業を機械化したことで、のり面で行う作業を極限まで削減することができました。



従来の吹付のり砕 F200 相当の性能を有しています。



従来ののり砕吹付状況



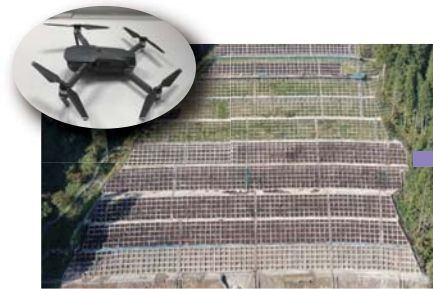
のり面上に人力で鉄筋と型枠を組み立てた後、型枠内にモルタルを吹付け、こて仕上げします。

※本技術は、株式会社大林組との共同開発技術です。

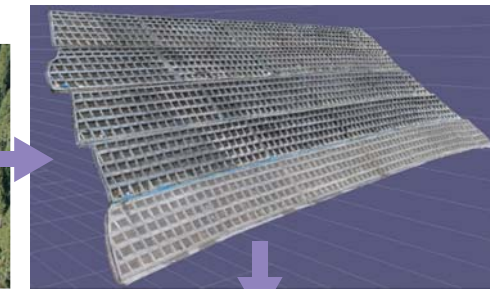
のり面3次元モデルの活用

ドローンで撮影した写真から、のり面の3次元データを作成します。これをPCソフト上で操作することにより、のり面に登ることなく現地状況や出来形を確認したり、任意の断面線やのり面展開図を作成することが出来ます。

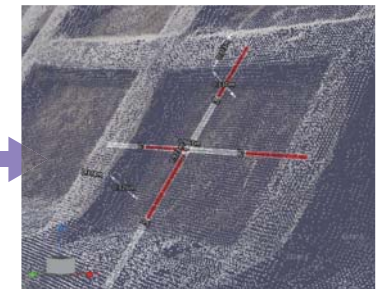
のり面をドローンにより撮影



写真から3次元モデルを作成



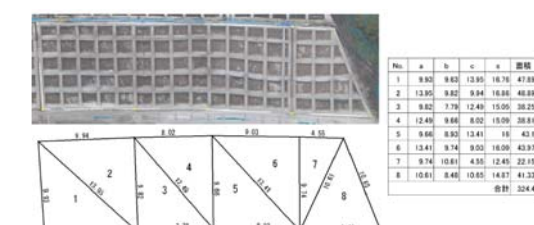
のり面の出来形を計測



※従来の出来形測定状況



のり面展開図を作成し、CAD図に変換



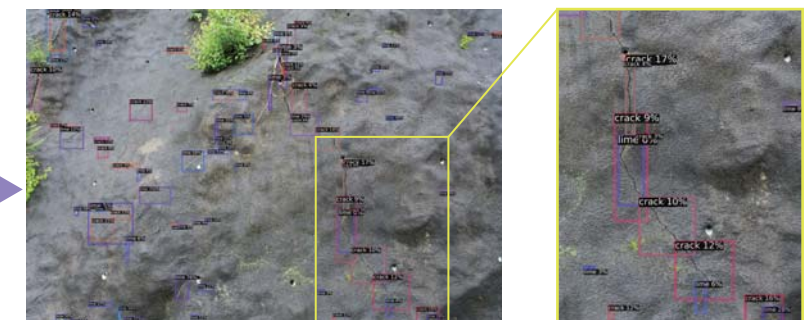
3次元モデルから、のり面の出来形として必要な各寸法を得ることが出来ます。

AIを用いたのり面ひび割れ調査

のり面をドローン等で撮影し、大きなひび割れを自動検出できれば、のり面の安全性確認がより容易になります。橋梁や壁面などの平らなコンクリート構造物では、写真からのAIによるひび割れ検出が可能になっています。日特建設は、凹凸や植生のあるのり面でもひび割れを自動検出できるよう、開発を進めています。



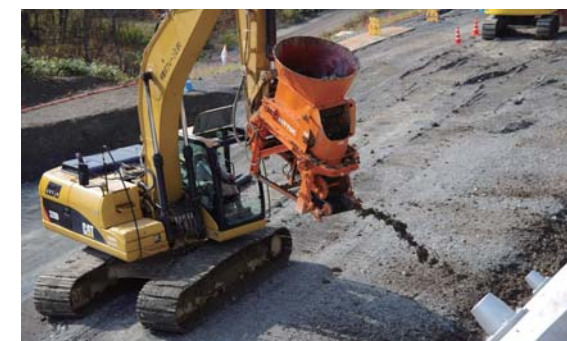
ドローンで撮影したのり面



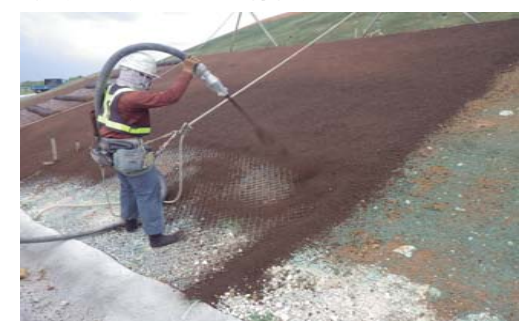
ひび割れ検出例

植生工の機械化施工

ネッコチップ工法は、伐採木を破碎した生チップ材および表土を含む現地発生土を専用プラントで混合し、高速ベルトコンベアを用いた機械化システムを用いてのり面に撒き出して生育基盤を造成します。これにより従来の吹付での施工に比べ約2倍の速度で施工が可能です。



従来の人力による吹付状況



●安全・衛生への配慮 安全に安心して働ける職場環境の整備を進めています。

日特建設は、社員、協力業者の社員を含めた工事に関わる全ての人が、安心して働ける職場環境を整備することは企業の重要な責務であると認識し、安全・衛生環境の整備と教育に力を入れています。

■安全衛生管理活動基本計画

1. 安全衛生管理活動基本計画の策定・重点実施項目

日特建設では、本店の安全環境品質本部で安全に関する基本計画を立て、その計画に則り、各支店の安全環境品質部が、現場代理人に安全活動の指導を行います。また、その計画の中で、安全指導の基本方針を3つ設けており、そして比較的事故の多いものを重点実施項目として5つ選び、それに関する事故の発生を特に力を入れて管理しています。

2021年度 安全衛生管理活動基本計画	
安全 第一	
全社統一スローガン	規則、規程、ルールを守り 危険ゼロの職場を確立する
基本方針	人命尊重を基本理念とし、設備と教育の充実を図り安全を確保する
目標	死亡、重大災害ゼロ 法面からの墜落・転落災害ゼロ
重点災害防止項目	●クレーン災害 ●墜落・転落災害
安全指導の基本方針	(1)『計画及び設備』 安全優先の計画を作成し、基本及び原則重視の設備を設置する (2)『教育』 類似工事の過去災害事例を自身の現場に置換えて学習する (3)『点検と是正』 現状と今後の作業を見据えた点検を行い、原則その場で改善する
重点実施項目(ゆとりを持った作業環境の整備)	
(1)安全指導強化項目の推進	①クレーン作業計画の周知と厳守 ②法面、高所での墜落防止設備設置の厳守 ③圧力ホースの適正な養生 ④ボーリングマシン作業手順の周知と厳守 ⑤掘削工法作業時の災害防止
(2)社員・作業員教育の強化	①鉄まれ・巻き込まれ災害の事例教育 ②縁り返し型災害・すべり、つまずき、転倒災害の事例教育 ③職業安全衛生教育
(3)ルールによる改善指導の強化	①ルールでの危険感受性向上指導 ②安全指導強化項目の点検 ③乗り込み1週間/100%の継続 ④法で定められた保護具の使用厳守
(4)指差呼称による「確認と一呼吸」と「不安全行動の撲滅」	人払いヨシ！ 保護具ヨシ！ 玉掛ヨシ！ 通路ヨシ！ 合図ヨシ！
(5)長時間労働防止対策の強化	①適正な就業管理 ②時間外、休日労働削減への取組強化 日 特 建 設 日 特 建 設 日 進 会

■安全教育の実施

当社では、社員や協力業者社員が業務において事故を起こしたり、けがをしないように、安全活動に必要な様々な教育を実施しています。

1. 新入社員への安全教育・・・ 当社では毎年4月、入社時に安全教育を行っています。法面実習などを実際に体験して安全設備の使い方を学び、作業員への管理・指導に役立てるよう学んでもらっています。
2. 社員への安全教育・・・ 当社ではその他、社員に対しても研修を行っています。毎年、フォロー研修や若手研修などの集合教育では安全環境品質部長教育を行っています。また、定期的に各支店で社員に対して安全教育を行っています。
3. 動画を使った安全教育・・・ 2019年11月よりYouTubeを使った安全教育を始めました。動画はすべて3分以内に短くまとめ、危険箇所と安全作業がよくわかるように、字幕、音声でわかりやすく表現しています。今までのように作業手順書などで、作業の危険を確認するより、簡単に、分かりやすく確認することができます。当社では安全教育や新規入場教育、朝礼、KY、予定外作業時の安全教育時に、活用しています。



新入社員研修(ロープ高所作業に係る特別教育)



新入社員を同行したパトロール(OJT教育)

■安全パトロールと協力会社への教育

1. 安全パトロールの実施

日特建設では、本店の安全環境品質本部 主導のもと、各支店の安全環境品質部が主体となって各現場の安全パトロールを行っています。土木工事の現場ごとに作業環境、状況はそれぞれ異なります。その現場の安全管理の状況を、現場代理人だけでなく、本店や幹部の視点からもチェックすることで、事故を発生させない安全な現場・職場環境を目指します。

2. 協力会社(事業主)への教育

事業主(協力会社の社長や幹部)に対して、過去の災害事例に基づく災害防止教育の実施や法改正時の改正ポイントの解説、事業主パトロールの実施率の調査報告などを含めた講習を随時行っています。



安全パトロールの様子



安全パトロールの様子

■日進会と安全衛生推進大会

1. 日進会(協力会社)と共に安全動を推進

日進会は、会社並びにその関係会社と会員(協力会社)が相互に提携し、労働災害、第三者公衆災害、交通災害の発生防止活動に取り組み、また、会員相互の意見交換、互助親睦を図り、更に技能の向上に努め共に発展し、会員の経済的地位の確立を期すことを目的とする会です。日進会と当社は共に協力し合いながら、安全活動を進めています。

2. 日特建設日進会、安全衛生推進大会

毎年6月に、当社の安全環境部の社員と全国の協力会社の代表者を集めた安全推進大会を開催しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となりましたが、支店で感染対策をしたWEB会議システムを使った安全衛生推進大会が開催されています。また、他の模範となる優秀な安全成績を収めた表彰については、協力会社10社が表彰されています。



支店の安全衛生推進大会



支店安全大会での表彰

SDGsへの取り組み



SDGs 日特建設はSDGs達成に向けた取り組みを進めています。

日特建設は、安全・安心な国土造りに貢献する会社を経営理念のひとつに掲げて、業務を行っています。SDGsをはじめとする社会課題への取り組みを通じて、当社の経営理念の実現とともに、持続可能な社会の実現に向けて貢献をしていきます。



施工前



施工後

北海道胆振東部地震により崩落した法面の工事



安全・安心な国土造りに貢献
地震、台風、豪雨などの自然災害から国土を守る
災害に強いインフラ街づくりの基盤を構築
文化財周辺斜面での防災対策
大学と共同で、文化財斜面防災のための技術開発



自然環境にやさしい持続可能な社会の実現
環境に配慮した工法の取り入れ



働き方改革の推進
人材育成・人材開発
安全衛生教育と安全環境の保全



女性技術者の採用増
女性が働きやすい職場環境の整備



コンプライアンスの徹底
リスク管理体制構築とプロセス管理の強化

当社の環境に関する取り組みを紹介します。

SDGs～環境への取り組み

災害廃棄物（木くず、汚泥）リサイクル

現地発生土とチップ材をニーズに合わせてリサイクルできるよう、複数のリサイクル緑化工法を取り揃えています。

長年にわたり培ってきたこれらのリサイクル緑化の知見を活かし、災害で発生した廃棄物（伐採木、根株、流木等の木くず、汚泥等）をのり面緑化の材料としてリサイクルすることで、廃棄物の低減を目指します。

①
災害で発生した廃棄物から
木くず・汚泥を選別



②
木くずは破碎してチップ
化し、緑化基盤材として
リサイクル

④
のり面の緑化に役立てます

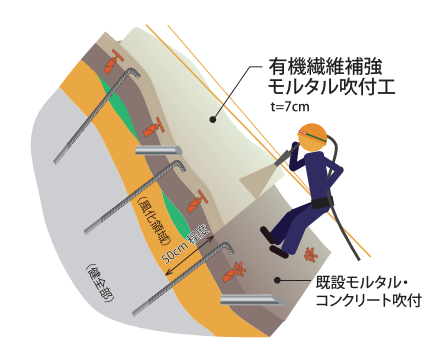


③
のり面に吹付
(写真はネッコチップ工法)

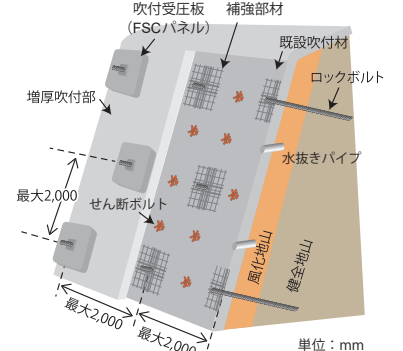
産業廃棄物低減

従来、老朽化した吹付のり面を補修する際は、既設モルタル・コンクリート吹付をはつり取ったうえで新たにモルタルを吹付けるため、はつり取ったコンクリートが産業廃棄物となっていました。ニューレスプエ工法および吹付受圧板工法（FSCパネル）は、吹付モルタル・コンクリートをはつり取らずに補修補強するため、産業廃棄物を低減できます。

ニューレスプエ工法



吹付受圧板工法（FSC パネル）

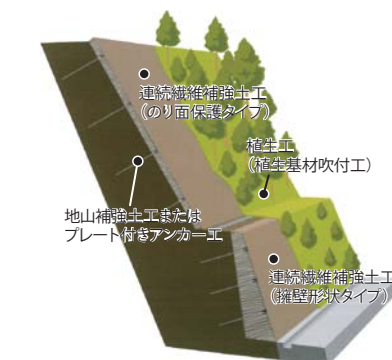


CO₂発生量抑制

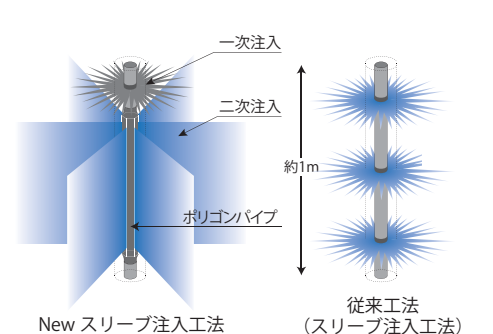
セメントの製造過程では、多大なCO₂を排出します。セメントを使わないジオファイバー工法は、のり砕工法に比べ資材の製造過程で排出されるCO₂量が1/3以下に低減されます。

New スリーブ注入工法は、従来工法よりも注入区間長が長く浸透性能が高いため注入間隔を広くでき、注入孔数が最大で1/4に削減できます。そのため工期短縮が図れ、施工機械から排出されるCO₂量を低減できます。

ジオファイバー工法



New スリーブ注入工法



現場紹介-1

〇●〇

当社は、「環境防災」「維持補修」「都市再生」の分野で、社会ニーズに応える新技術を生み出し、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献していきます。そして、私たちにできる仕事をしっかりと着実にやり、震災復興及び防災・減災への貢献につなげていきたいと考えています。

● 北海道胆振東部地震 復旧・復興への取り組み

■ 高丘地区B 治山激甚災害対策特別緊急工事 (北海道勇払郡厚真町)

2018年9月6日に最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生しました。その地震により、厚真町の広い範囲で土砂崩れが発生しました。当工事は地震により崩落した厚真町高丘地区法面の保護を行いました。詳細には被害の大きかった地区のひとつである高丘地区での現場吹付法枠、植生シートを施工しました。

[発注者:北海道胆振総合振興局 注文者:草塩・中塚・西江地震災害復旧工事特例共同企業体]

概要:現場吹付法枠工 (F200) 植生基材吹付工 植生シート設置



施工前



完成後

● 東日本大震災 復旧・復興への取り組み

■ 気仙沼地区復興工事 (宮城県気仙沼市)

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、気仙沼市は大津波と大火災に見舞われました。当社は、その中で特に被害が大きかった南気仙沼地区と鹿折地区の復興事業に2014年から2020年にかけて参画しました。かつて日本有数の港町だった同市の再興の一助となるべく、被災した建物の基礎杭の撤去、新しい下水管や雨水ボックスの設置、古い橋の撤去、河川護岸や街並みの整備等を行いました。

[発注者:UR都市機構 注文者:清水・西松・奥村・パスコ・アジア航測 JV]

概要:推進工、下水工、河川護岸工]



施工前



施工中

● 復旧・復興への取り組み

■ 天人峡美瑛線 防災B(地方道)工事 (北海道上川郡東川町)

2010年8月24日に発生した大雨により、天人峡温泉地区は、道路が崩れ落ちたことにより孤立し、300人以上が足止めされ、道路の冠水による通行止め、鉄道の運休など大きな被害が発生しました。当工事はその大雨で崩落した法面の保護工事を行いました。工事は連続繊維補強土工、鉄筋挿入工、植生シート設置を行いました。施工した法面は、時間の経過とともに緑に還元されていきます。

[発注者:旭川建設管理部 概要:連続繊維補強土工、鉄筋挿入工、グリーンパネル、植生シート設置]



施工前



完成後

現場紹介-2

〇●〇

当社は、「環境防災」「維持補修」「都市再生」の分野で、社会ニーズに応える新技術を生み出し、安全・安心で豊かな社会づくりに貢献していきます。そして、私たちにできる仕事をしっかりと着実にやり、震災復興及び防災・減災への貢献につなげていきたいと考えています。

● 復旧・復興への取組み

■ 令和2年度市単独土木施設災害復旧事業(国) 152号道路災害復旧工事(瀬尻) (静岡県浜松市)

2020年7月の梅雨前線豪雨により浜松市では道路沿いの山の斜面が崩壊し、巨大な石が道路近くまで到達しました。崩壊斜面下部には地域住民の主要道路である国道152号線が既存し、斜面崩壊の影響により全面通行止めとなりました。そこで浜松市から災害協定に基づき、発注された斜面崩壊対策工事を当社は担当いたしました。工事では、転落の危険がある不安定な転石をガンサイザーにより破碎しました。工事完了後の12月21日に国道は開放されました。

[発注者:浜松市天竜土木整備事務所 概要:小割工(破碎)]



施工前



完成後(応急対応後)

● 特色ある工事

■ 山本不動尊奥の院落石対策工事(小岩片剥落対策工事) (福島県東白河郡棚倉町)

福島県にある山本不動尊では、東日本大震災の影響により、御本尊を安置している霊場(奥の院)で、岩窟内部の小岩片の剥落による事故が懸念されていました。その落石対策工事を当社は担当しました。まず、3Dレーザースキャナ測量により断面形状の把握と施工面積を決定し、岩の隙間や亀裂に岩色着色したモルタルを充填し、削孔の振動による剥離落下事故を防止してアンカー削孔、ワイヤーロープ・金網設置して、落石対策工は完了しました。

[発注者:山本不動尊 注文者:藤田建設工業株式会社 概要:落石防止網工]



遠景(中央が施工場所の奥の院)



完成後

■ 千本ダム堤体補強工事(島根県松江市)

千本ダムは島根県松江市にある大正7年(1918年)に完成した堤高15.8m、堤頂長109.1mの粗石コンクリートによる重力式の石積みダムで、2008年に国の登録有形文化財に指定されています。またこのダムは、上水道の水源池となっており、地域の重要なインフラとなっています。このダム堤体の安定性を検討したところ、現在の耐震基準を満足していないことが判明し、国内初のダム補強用アンカー(PSアンカー工)による堤体補強対策を実施しました。

[発注者:島根県松江市上下水道局 注文者:株式会社大林組 概要:PSアンカー工]



施工中



施工中

■ 史跡城山横穴群保存整備工事(福岡県田川郡福智町)

城山横穴群は、福岡県田川郡福智町に所在し、6世紀前半～7世紀後半につくられたとされる横穴墓群で、2014年に国指定となった史跡です。今回の工事では、城山横穴群の周辺整備工事の一環として、斜面保護をジオファイバー工法で施工しました。工事完了後、当時の状況を再現し史跡公園として一般公開されています。

[発注者:福岡県福智町 概要:連続繊維補強土工(ジオファイバー工法)、顔料入りモルタル吹付工]



施工前



完成後

● 海外展開について

インドネシア共和国は人口約2.7億人を抱え、高い経済成長を続けています。しかし、交通渋滞が常態化するなど、インフラについてはいまだ未整備の状態です。

そこで当社では成長戦略の一環として、高い成長を続けるインドネシアのインフラ工事の受注を目指していきます。またインドネシアだけにとどまらず、成長する東南アジア地域のインフラ工事の受注も目指します。

■ インドネシアの子会社PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA

当社は、2012年9月にジャカルタ駐在員事務所を設け、現地法人設立の調査などを続け、そしてPT PANCA DUTA PRAKARSAとの間で、インドネシア共和国国内における建設事業を行う合併会社を設立することを決議し、2015年10月に、日特建設株式会社とPT PANCA DUTA PRAKARSAとの間で合併契約を締結しました。その後PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAを設立し、2016年4月より営業を開始し、5年が経過しました。

当社は、設立した連結子会社PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIAにおいて、インドネシア共和国国内のインフラに関する法面、地盤改良などの専門工事の受注に向けた受注活動を行っています。

合併会社の概要

- (1) 商号: PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA
- (2) 代表者: 屋宮康信
- (3) 所在地: インドネシア共和国 南ジャカルタ市
- (4) 営業開始年月: 2016年4月
- (5) 事業の内容: インドネシア共和国国内における建設事業
- (6) 決算期: 3月期
- (7) 資本金: 51,000百万インドネシアルピア (約388百万円)
※インドネシアルピア=0.0076円で計算しております。
- (8) 株主構成: 日特建設(株): 65%、PT PANCA DUTA PRAKARSA: 35%

住所:
GENERALI TOWER GRAND RUBINA BUSINESS PARK 16th
Floor Unit G, Kawasan Rasuna Epicentrum Jl. HR Rasuna
Said, Jakarta 12940, Indonesia
TEL.62-21-2994-1582
FAX.62-21-2994-1991

PT NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA ホームページ

<https://www.nittoc-id.co.id/>

● 安全大会・PT.NCI 5周年パーティーについて



安全大会の様子(WEB)

毎年1回、従業員を集めて安全大会を開催し、安全意識の向上を図っています。

2020年11月17日、PT. NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA (以下PTNCI) の5周年記念パーティーと安全大会が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、WEB会議で自宅や各現場から社員が参加し行われました。

安全大会では、2019年度の日本とインドネシアの災害事例が紹介され、続いて同社が現在施工している、または直近で施工開始する工事の災害ケーススタディが行われ、ジェットグラウト、推進、パワブレンダー、法面、電気関係の災害事例とともに安全作業について周知徹底が行われました。また5周年記念パーティーの中で、勤続5年を迎えた従業員等の表彰が行われました。



5周年表彰



ベストスタッフ表彰と5周年表彰

● 社員教育について

昨年度は新型コロナウイルス感染症のために実現できませんでしたが、当社では様々な部所の社員を日本に招き、教育を行っています。

■ 技術・安全スタッフ研修

定期的に技術・安全担当の社員が、NITTOCの安全管理やプロジェクト管理について学ぶため、さらには当社の建設技術のため日本に派遣して研修を行っています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、来日しての教育はできませんでしたが、WEB会議形式で教育を行っています。



※写真は2018年に行われた事務系社員の機材センター訪問時

■ 事務管理スタッフ研修

定期的に事務系社員が来日し、研修を行っています。研修では、当社の歴史や業務フローなどを学んでいます。また、機材センターなどの日本の施設を訪問し、見学も行っています。



※写真は2018年に行われた安全パトロールについての同行教育

● コミュニケーション活動について

レクリエーション活動を活発に行い、社員の一体感の醸成を図っています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、レクリエーション活動は控えましたが、例年、社員間のコミュニケーションを円滑にするために、様々なレクリエーション活動を行っています。

■ ジャカルタ「絆」駅伝に参加

毎年、ジャカルタで開催されるジャカルタ「絆」駅伝に続けて参加しています。この駅伝はインドネシアと日本との交流促進のために毎年開催されるチャリティーイベントです。2015年から定期的に、この駅伝大会に参加しています。2019年は日本人とインドネシア人の組み合わせで4チーム、16名が参加しました。イベントでの協力精神が、仕事上でのチームワークに良い影響を与えています。



過去のマラソン参加時の様子

■ 社員と家族が参加するレクリエーション活動

11月のPT.NITTOC CONSTRUCTION INDONESIA 設立記念日に合わせて、社員との家族が参加するレクリエーション活動を開催しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、実施はできませんでしたが、定期的な実施により、社員間のコミュニケーションが円滑になるように活動しています。

2018年には、北ジャカルタ アンチョールで、日本人・インドネシア人スタッフとその家族 総勢86名が参加しました。また2019年には、北ジャカルタ アンチョール オーシャンドリーム (SCORPION PIRATES) で、日本人・インドネシア人スタッフとその家族 総勢91名が参加して行われました。このような、社員と家族参加のレクリエーション活動を毎年続けています。



2018年開催時の せんべい食い競争



3周年記念パーティー後の集合写真

● 海外工事紹介

インドネシア共和国では、駐在員事務所開設から、子会社設立を経て、着実に施工実績を積み重ねています。インドネシアで手掛けた工事をご紹介します。



■アサハン第3水力発電所工事
Asahan No.3 Hydroelectric Power Plant

北スマトラ州において、電力需給逼迫の緩和および供給の安定性の改善を図るために建設される水力発電所の工事です。当社は法面保護工事を担当しています。

施工場所 北スマトラ州アサハン県
発注者 PT PLN
注文者 Shimizu - Adhi Karya JO
工事内容 フリーフレーム工、モルタル吹付
工事期間 2019年9月～工事中

■ジャカルタ大容量高速輸送新設工事(地下鉄新設)
JAKARTA MASS RAPID TRANSIT PROJECT

ジャカルタは経済活動の中心として目覚ましい発展を遂げています。しかし、慢性的な交通渋滞が発生するようになり、この交通渋滞緩和を目的に地下鉄を新設することになりました。当社はこの地下鉄工事で、底盤改良工事と坑口防護工事を担当しています。

施工場所 ジャカルタ首都特別州
発注者 PT. MRT JAKARTA
注文者 Shimizu - Adhi Karya JO
工事内容 ジェットグラウト工、薬液注入工
工事期間 2020年10月～工事中



■マカッサル市北西域下水幹線工事
Cement Soil Mixing Demonstration Work
Development of Makassar City Northwest Zone

東部インドネシア最大都市であるマカッサル市は経済成長に伴う急速な人口増加にインフラ整備が追いついておらず、その克服が課題となっています。そのインフラ工事中で、当社は下水道の新設工事の施工を担当しています。

施工場所 南スラウェシ州マカッサル市
発注者 PU(公共事業省)
注文者 PT. ADHI KARYA (Persero) Tbk
工事内容 推進工
工事期間 2020年8月～工事中

● 海外社員の紹介

海外研修や語学研修、海外工事現場での従事、インドネシア人等の外国人技術者の教育を通じ、国際的な人材育成を図っています。当社に勤務する海外社員のご紹介です。



日本の大学で修士課程を卒業した後、当社に入社しました。私が最初に携わった北海道での法面保護プロジェクトでは、必要となる技術はもちろんのこと、現場の管理方法や専門的な日本語、さらには日本社会で働くために必要な礼儀作法など様々なことを学ぶことができました。その後、法面保護、地盤改良、深礎などに関連するさまざまな種類のプロジェクトに携わってきました。外国人の私にも優しく接してくれるフレンドリーな職場環境を実現してくれた当社と、すべての同僚に感謝しています。より安全で安心な社会づくりに貢献することのできる当社の一員であることをとても嬉しく、また誇りに思います。

マルティネス ブラヴォ デルビン アブディエル
(MARTINEZ BRAVO Delvin Abdiel)
所属：海外事業部 工事部 工事課 国籍：ニカラグア



私はミャンマーのピエ工科大学の土木学科を卒業し、ミャンマーで数年働いた後、2019年11月から当社の東京支店、名古屋支店で施工管理に従事しました。これまで、パワーブレンダー工法、CJG工法、Super Jetなどの地盤改良工事やモルタル吹付、法枠吹付、ロックボルトなどの法面工事を経験し、様々な技術を学びました。私の目標は、日本語を今以上に覚え、日本の生活にも慣れ、一緒に働く人と協力して施工管理し、安全・安心な国土造りに貢献できるエンジニアになることです。

ゾエー ザン(ZWE ZAN)
所属：海外事業部 工事部 工事課 国籍：ミャンマー



私は、2016年にミャンマーのモラミヤイン工科大学の土木学科を卒業しました。2019年11月から当社の東京支店などで施工管理に従事しました。日本の現場ではBH工法、SMW工法、N-Jet工法、パワーブレンダー工法等の地盤改良工事を経験しました。日本語をもっと覚えて、日本の生活にもっと慣れ、のり面、推進などの様々な特殊な技術も勉強したいです。当社は様々な特殊技術を学べ、日本国内だけではなく海外でも働ける機会があるので、当社で働けることを嬉しく思います。

ナイン トウン(NAING THUN)
所属：海外事業部 工事部 工事課 国籍：ミャンマー

● 環境方針

当社では、環境問題への取り組みは企業価値の向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。特に、当社がかかわる特殊土木分野において地球環境の保全に貢献できる技術・製品・サービスの提供は、当社の重要な社会的責務であると考えています。新しい技術・製品を社会に提供する研究開発業務に携わる技術開発本部では、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得して、それら責務の達成に取り組んでいます。

1. 技術開発本部は、地球環境の保全活動を事業活動の一つと位置付ける。地球環境への負荷低減を目指し、環境マネジメントシステムの改善を図るとともに継続的向上に努める。
2. 限りある資源の有効利用と環境への負荷低減に向けた資源循環社会の形成に効果的な研究・開発の推進を図る。
3. 廃棄物量低減、リサイクル率向上、省資源、省エネルギー、生態系保全、景観保全、環境保全型商品利用の促進、気候変動への適応などを目指した活動を推進する。
4. 環境関連の法規制、協定書、顧客及び業界の要求事項を遵守し、環境保全に関する社会的責務を積極的に果たす。
5. 技術開発本部の要員への環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努める。
6. 顧客及び地域社会との協調を図るため、必要に応じ環境方針及び環境保全活動の実施状況を公開する。

● ISO14001 環境マネジメントシステム

日特建設株式会社技術開発本部は、環境方針に基づき環境マネジメントシステムを構築し、環境管理活動を推進しています。

登録番号	JSAE222
初回登録日	2000年3月24日
更新日	2021年3月24日
有効期限日	2024年3月23日
適用規格	JIS Q 14001:2015、ISO14001:2015
登録範囲	環境、防災、都市再生、維持管理関連の建造物及び施工方法等に関する研究・開発及び品質試験



登録証

● 研究開発での取り組み

技術開発本部では、すべての研究開発テーマを、地球環境の保全に貢献できるものと位置付けて取り組んでいます。開発を行う製品・サービスの環境に対する影響を把握し、廃棄物量低減、リサイクル率向上、省資源、省エネルギー、生態系の保護など地球環境保全に貢献できる技術・製品の開発、提供を目指します。また、開発業務実施にあたっては、省エネルギー、省資源・リサイクル、廃棄物の管理のほか、環境保全型商品利用の促進などを進め、資源の有効活用と環境への負荷低減に努めています。

2020年度は、最優先テーマ8件について開発を促進し、年度計画を100%達成することができました。2020年度に開発した工法や取り組みについては、一部をP. 11に掲載しています。これ以外にも、これまでに開発した環境保全技術の社会実装を進め、環境改善や負荷低減に取り組んでいます。

＜産業廃棄物を低減する技術＞

従来、老朽化した吹付のり面を補修する際は、既設モルタル・コンクリート吹付のはつり取りが必要なため、はつり取ったコンクリート殻が産業廃棄物となっていました。ニューレスプ工法は、これらをはつり取らずに補修補強するため、産業廃棄物を低減できます。また、現地発生材やチップ材をニーズに合わせてリサイクルするのり面緑化工法も各種そろえています。

＜CO2排出量を低減する技術＞

セメントの製造過程では多大なCO2を排出します。セメントを使用しないジオファイバー工法は、のり枠工法に比べ資材の製造過程で排出されるCO2量が1/3以下に低減されます。EGNアンカー工法は、加圧注入により定着材を拡張させることで、従来の鉄筋挿入工と比較して大きな引抜き抵抗力を発揮する地山補強土工法です。打設本数の削減、補強材料の短縮により工期を短縮することができ、施工機械から排出されるCO2量を低減できます。

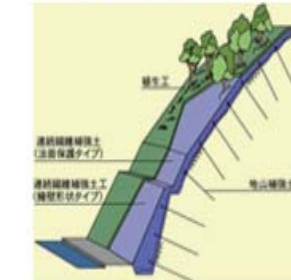
ニューレスプ工法



リサイクルのり面緑化工法



ジオファイバー工法



EGN アンカー工法



● 永年登録特別表彰状

当社は、ISOマネジメントシステムの認証制度の創成期である2000年の認証取得以降、マネジメントシステム認証を継続し20年目を迎えたことについて、日本規格協会ソリューションズ株式会社より永年登録特別表彰を受けました。(2020年11月1日 表彰)



永年登録特別表彰状

社会貢献 -1

〇●〇

当社は、社会から信頼される企業を目指し、全国各地で様々な社会貢献活動を推進しています。その中から主なものを紹介します。

● **災害復旧** 当社とその社員は災害復旧活動に協力しています。



■ **東京支店 台風による倒木の撤去作業**
(群馬県 2020年9月)

9月に発生した台風12号により、群馬県のダム現場周辺の道路において、倒木の被害が発生しました。そこで台風通過後、撤去作業を行いました。近隣の現場で現場代理人をしていた社員と協力業者社員で、倒木を撤去後、道路の折れた枝などの道路上の障害物を撤去しました。その後、道路の通行止めは解除されました。



■ **大阪支店 台風による倒木の撤去作業**
(大阪府 2020年10月)

大阪府貝塚市 阪和自動車道の貝塚インターチェンジで工事を行っていました。10月の台風14号の通過後、現場事務所近くの一般道路沿いの木が倒れ、木や折れた枝などが道路を塞ぐように散乱し、通行止めとなりました。そこで当社と協力業者の社員などで、倒木を撤去後、道路の清掃を行い、通行出来るようにしました。



■ **広島支店 災害応急対策連絡協議会の対応**
(島根県 2020年12月)

2020年年末、松江市内および安来市内の国道9号線沿いで大雪による道路への倒竹があり、松江国道事務所からその除去依頼があり、当社社員と協力業者社員で対応しました。当日は、日付の変わった大晦日の真夜中の作業でしたが、予想以上の積雪で、倒竹の量の多さ、重量に苦労しながら除去しました。国道9号沿いという、山陰地方の主要国道であるため、明け方までに作業を完了させ、立ち往生や大きな事故等に発生しなかったことに安堵しました。

● **現場見学会・インターンシップ**

当社担当の工事等を理解していただくことや将来の建設業を担う学生のために、現場見学会やインターンシップを各地で開催しています。



■ **札幌支店 災害復旧現場及び地盤改良工現場見学会**
(北海道 2020年10月)

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、札幌市でも液状化が発生しました。その地盤改良工事を当社が請け負いました。この現場の地盤改良工事は、パワーブレンダー工法を採用し、その平面の改良箇所がモニターで確認できるようにICT管理を採用しました。そのICT管理の見学会を開催しました。当日は、約20名にご参加いただき、モニターで地盤改良の進捗状況の確認や使用方法などを見学していただきました。

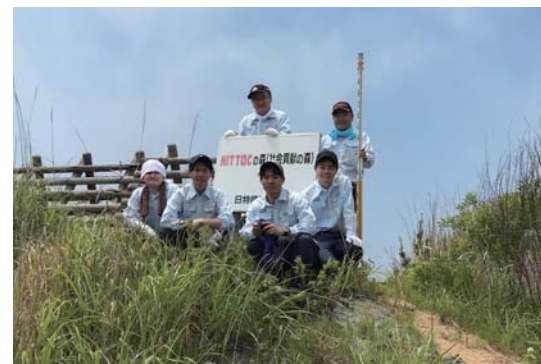


■ **札幌支店 北海道胆振東部地震の復興現場
インターンシップの学生を受入**
(北海道 2020年8月)

当社は、北海道胆振東部地震の法枠工事の現場で、本工事の体験を希望するインターンシップの学生1名を受け入れました。参加する学生は、札幌の専門学校環境土木工学科に所属する1年生で将来土木業界での活躍を目指す学生です。受け入れ現場の法面工事について、現場代理人より説明を行いました。地元の復興工事を体験できるとのことで、意欲的に学んでいただきました。

● **地域貢献**

当社では、現場周辺の住民の方々や地域への貢献活動も積極的に推進しています。



※集合写真撮影時のみマスクを外しています。

■ **東北支店 海岸防災林再生メンテナンス活動**
(宮城県 2020年6月)

東日本大震災による津波で流失した海岸防災林の再生活動です。2014年の植樹から時間が経過し、成長した木々は、場所によって生育に違いがありますが、低いところでも1.5mほど、高いところでは4mほどに成長しています。当日は、支店長をはじめ東北支店社員7名でメンテナンス作業を行いました。作業は肥料をまいたり、下草を刈るなどです。今後も定期的にメンテナンスを続け、この活動を続けていく予定です。



※集合写真撮影時のみマスクを外しています。

■ **北陸支店 ECHIGO 棚田サポーター**
(新潟県 2020年6月)

ECHIGO 棚田サポーターとは、棚田を愛し、地域の方々と一緒に棚田を守るため、新潟県にある県農地部職員を中心に結成されたグループです。その目的に賛同した北陸支店の有志は、今年も新潟県各地の棚田の草刈り、清掃に協力しました。2020年度は、6月に支店社員5名で参加しました。

【活動内容】
佐渡市 岩根沢地区 棚田の用水・排水路の草刈り、
江さらい、溜池周辺整備



■ **広島支店 山口県防災・砂防ボランティア協会
における砂防施設点検活動** (山口県 2020年12月)
土砂災害を未然に防ぐことを目的として、行われている防災・砂防ボランティア協会による砂防施設点検活動に今年も参加しています。点検活動は、山口県土木建築部砂防課と協力し、県内の土砂災害危険箇所である急傾斜地や地すべり防止区域、そして砂防施設などを点検しました。

今回も県土木部、協会関係者の方など50名以上で山口県内の砂防ダムを点検し、5名程度のグループに分かれて行いました。点検は、前回の点検箇所に着しい変状が起こっていないかなどを確認していきましました。

● 清掃活動等 現場周辺や支店周辺の清掃活動を積極的に行っています。



■東北支店 桂浜海水浴場清掃活動（秋田県 2020年7月）
秋田県ジオファイバー協会の会員とともに、秋田市桂浜海水浴場の清掃活動を行いました。当社の社員5名を含めた約30名が参加しました。清掃活動はそれぞれ班ごとに分かれ、背の高く茂った雑草の草刈りや、空き缶、ペットボトル等のごみ拾いを行いました。海水浴シーズン前に周辺をきれいにする活動に参加でき、地元の環境整備に微力ながら貢献させていただくことができました。今回は新型コロナウイルス感染の予防のため、マスクをつけて密にならないように行いました。この活動は、2007年から14年続いて参加しています。今後も継続して参加していきます。



■大阪支店 担当現場隣接公園の清掃活動（香川県 2020年8月）
現場のある公園の清掃活動を行いました。現場のある高架橋は公園の敷地内に建設されており、高架橋の耐震補強工事の為に、橋脚に隣接するすべり台などの遊具を囲うように万能塀で囲っており、公園の利用者に迷惑をかけていました。そこで普段施工にご理解をいただいている、近隣や公園利用者のために、公園内のゴミ、落ち葉などの清掃活動を当社社員、協力会社社員とともに行いました。



■大阪支店 現場隣接地での間伐・草刈り活動（京都府 2020年11月）
施工現場と隣接する耕作地では、その周辺の山間部の間伐作業、草刈り作業が近隣住民の方々の負担となっていました。そこで工事期間中に耕作地周辺の山間部の間伐作業を当社社員及び協力会社社員で行いました。また、それに合わせ、耕作地周辺の草刈り作業も行いました。これにより、近隣住民の方々からは、草刈り等の負担が軽減されたと喜んでいただけました。



■広島支店 クリーンボランティア支援事業（広島県 2020年4月～2021年2月）
2020年4月より、会社近くの河川協遊歩道を3ヵ月に1回の割合で、清掃活動を行っています。清掃は、主に広島支店の内勤者で、夕方から20名ほどで行います。通常は、街中のゴミの為、ペットボトルや紙ごみなどが多いのですが、秋に実施したときは落葉が一番多く、1回の清掃で透明ポリ袋20個程度の大量のゴミが出ました。今後も広島支店では、近隣の清掃活動を定期的に続けていきます。



■九州支店 第10回和白干潟アオサ清掃活動（福岡県 2020年11月）
福岡市東区にある国の鳥獣保護区 和白干潟には大量にアオサが発生しています。アオサは大量に発生すると干潟一面を覆い、アサリ等の干潟の生きものは住みにくくなります。そこで、毎年アオサの清掃活動が行われていますが、この活動に、今年も九電商友会土木建築工事部会・セメント部会のメンバーとともに今年も参加しました。しかし今年は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加者を制限して実施されたため、当社は1名での参加となりました。



■九州支店 「美しい田園21」清掃活動（宮崎県 2020年11月）
宮崎県の天神ダム周辺で行われた九州農政局の呼びかけによる、大淀川右岸地区管理体制整備推進協議会主催の天神ダム周辺環境整備活動に、当社も参加しました。この整備活動は、天神ダム周辺に植栽されている「千本さくら」の景観保全を目的としたものです。今年の九州支部の活動は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、密にならないように2日に分かれて行われました。当社は後半の日程に3名で参加し、総勢33名で草刈りなどを行いました。

● 社会福祉活動

当社は、子ども食堂の活動やパラスポーツの振興・普及活動に協力しています。



■子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」への支援箱を設置（東京都 2020年9月～）
当社の本店事務所に子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」の募金箱を設置しました。子ども食堂「おひさまキッチン、おひさまフードパントリー」は、「子どもが空腹を空かせているのに食べるものがない、親が働きに出ていて一人寂しく家で会話もなく食事をしている。『そんな環境を少しでも減らしてあげたい』」との思いから、始められたもので、当社もその考えに賛同し、募金活動に協力しています。



※写真は前年度撮影分を使用

■シーズアスリート法人会員の加入（2019年8月～）
2019年8月より「障害者スポーツ選手雇用センター（シーズアスリート C's Athlete）」の法人会員に加入しています。シーズアスリートは株式会社麻生のグループ会社である株式会社アソウ・ヒューマニーセンターが、障害者の新しい雇用開発と障害者スポーツの振興を目的に設立した団体です。またオリンピック（パラリンピック）への出場を目指している選手を支援しています。当社は、この主旨に賛同し、シーズアスリートの活動を支援、協賛しています。